

| 学年 | コース | 教科 | 科目 | 類型 | 必・選 | 単位数 |
|----|------|----|-------|----|-----|-----|
| 2 | 特進一貫 | 社会 | 歴史・公民 | | 必修 | 3 |

講座のねらい

1・2学期前半にかけては、歴史的分野を学習します。中世から現代史にかけて、政治・経済、文化を中心に学び、時代ごとの特徴をとらえることで、歴史の大きな流れをつかみます。その際、ヨーロッパやアジアなど世界の歴史的な動きもふまえて、「なぜこうなったのか。」を学びます。さらに、エピソードなどから歴史への興味や感心を高め、具体的な歴史的な事象を学ぶことによって、広い視野に立って考える力を養います。

2学期後半から3学期にかけては、公民的分野を学習します。人権や民主主義の成立過程を学び、それらに基づく日本の法・政治・経済について学習していきます。さらに、日本のみならず、諸外国との関係や地球規模の課題も考えていきます。

使用教材及び問題集

《歴史的分野》 教科書：「新しい社会 歴史」 東京書籍
 資料集：「よみとき総合歴史 兵庫県版」 浜島書店
 問題集：「ウイニング歴史Ⅰ・Ⅱ」 好学出版

《公民的分野》教科書：「中学社会 公民 とともに生きる」 教育出版
 資料集：「新しい公民」 浜島書店
 問題集：「ウイニング社会3」 好学出版

授業の内容と進め方

歴史的分野では、教科書をしっかりと読んで歴史の流れをつかみ、基礎的な知識を取得します。教科書の流れに沿って、資料集の図や写真を利用し、より深く内容を理解します。各単元終了後、問題集で知識の定着をはかります。

公民的分野では、教科書をしっかりと読むことで、基礎的な概念、用語を習得した上で現代に起こっている社会的な事象を学びます。教科書の流れに沿って、資料集の図や写真を利用し、より深く内容を理解します。各単元終了後、問題集で知識の定着をはかります。

講座の到達目標

歴史的分野では、教科書をしっかりと読んで歴史の流れをつかみ、基礎的な知識を取得します。教科書の流れに沿って、資料集の図や写真を利用し、より深く内容を理解します。各単元終了後、問題集で知識の定着をはかります。

公民的分野では、人権に対する正しい認識を身につけ、民主主義の意義、法、経済活動に関する学習を通じて、個人と社会との関わりに対する理解を深めます。また、国際社会の諸問題を扱い、現代の社会的な事象に関心を高めるとともに、現在や未来の社会に対して多角的、また公正に判断する能力を養います。

評価の観点・テスト・課題など

定期考査、課題考査、小テスト、宿題やノートなどの提出物、授業や学習に取り組む態度など、総合的に評価します。授業では、単元ごとに問題集等、授業内容の復習ができる課題を宿題とします。長期休暇においても復習中心の課題を出し、各学期ごとに課題考査を実施します。

備考

生徒の学習状況、理解の度合いなどを考慮し、講習などを行う場合があります。

授業の計画

1 学期 学習計画および学習内容

《歴史的分野》

第3章 中世の日本

- 1 節 武士の台頭と鎌倉幕府
- 2 節 東アジア世界との関わりと社会の変動

第4章 近世の日本

- 1 節 ヨーロッパ人との出会いと全国統一
- 2 節 江戸幕府の成立と鎖国
- 3 節 産業の発達と幕府政治の動き

第5章 開国と近代日本の歩み

- 1 節 欧米の進出と日本の開国
- 2 節 明治維新
- 3 節 日清・日露戦争と近代産業

第6章 二度の世界大戦と日本

- 1 節 第一次世界大戦と日本
- 2 節 世界恐慌と日本の中国侵略
- 3 節 第二次世界大戦と日本

2 学期 学習計画および学習内容

第7章 現代の日本と世界

- 1 節 戦後日本の発展と国際社会
- 2 節 新たな時代の日本と世界

《公民的分野》

第1章 わたしたちの暮らしと現代社会

- 1 わたしたちが生きる現代社会
- 2 現代につながる伝統と文化
- 3 わたしたちがつくる社会

第2章 人間を尊重する日本国憲法

- 1 民主政治を支える憲法
- 2 憲法が保障する基本的人権
- 3 わたしたちの平和主義

第3章 わたしたちの暮らしと民主政治

- 1 民主主義と日本の政治
- 2 司法権の独立と裁判
- 3 地方自治と住民の参加

3 学期 学習計画および学習内容

第4章 わたしたちの暮らしと経済

- 1 消費生活と市場経済
- 2 生産のしくみと企業・金融
- 3 財政と政府の役割

第5章 安心して暮らせる社会

- 1 労働と社会保障
- 2 これからの日本経済の課題

第6章 国際社会に生きるわたしたち

- 1 国際社会が抱える課題
- 2 国際社会を支えるしくみ
- 3 持続可能な社会の実現に向けて